認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修

2026年度【第2回】
災害支援活動者養成研修

単位取得コース

主催：（一社）兵庫県社会福祉士会

災害対応・支援（分野共通）　（分野専門／地域社会・多文化分野／ソーシャルワーク機能別科目群）
1単位（認証No.2025002）　高齢分野、障害分野、児童・家庭分野、医療分野での読み替え可能

研修概要

災害対応の法制度、関係機関の役割、災害発生後からの福祉的ニーズの変遷、生活支援の実際を学び、ソーシャルワーカーの視点で災害支援ができるように、**オンデマンド講義の視聴（6科目）とオンラインでのライブ研修**により、災害支援の実際を学びます。

＊事前課題、事後課題あり
＊オンデマンド講義は2025年度、2026年度【第1回】と同じ内容です。

対象　社会福祉士であり、社会福祉士の災害支援に興味がある方

受講料
・社会福祉士会会員（全国）17,820円（税込）
・非会員　35,640円（税込）

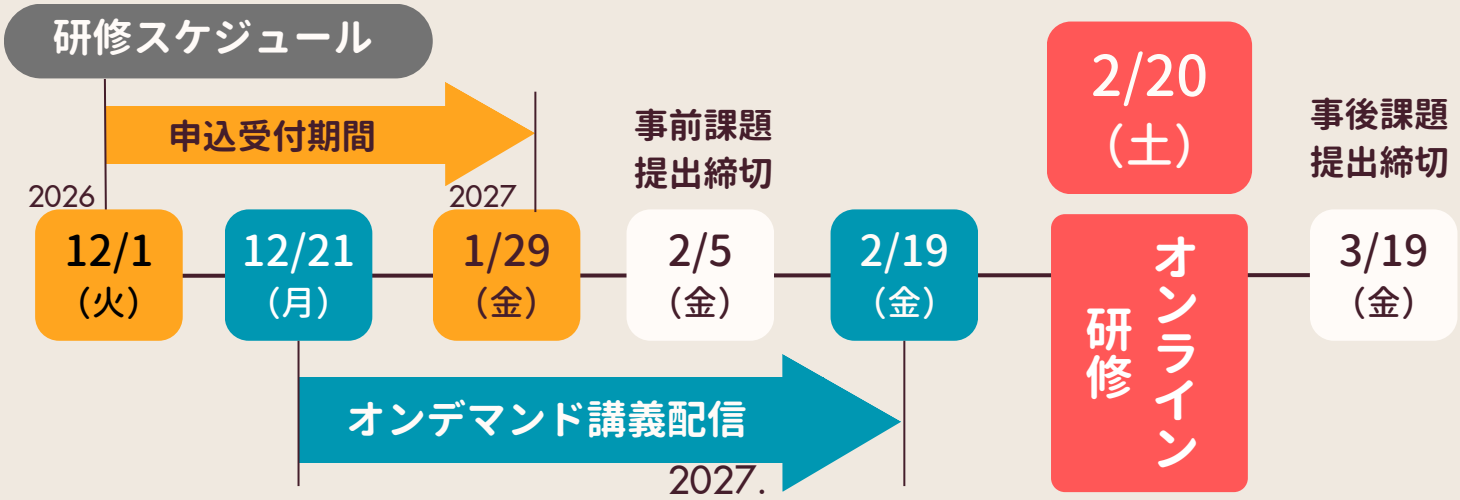
＊申込者都合によるキャンセルは、返金できません。

定員　60名

プログラム・修了要件　次ページ参照

申込方法　右の二次元コード、または下記のURLよりお申込みください。
受付後、受講決定通知をメールでお送りいたします。
https://forms.gle/zZPEkSXDFF9SBKSE7

研修スケジュール



＊オンライン研修を受講するには、2027年2月19日（金）までに、オンデマンド講義（６科目）の受講をすべて修了し、事前課題を提出することが必須要件となります（詳細は次ページ参照）。　※講義の視聴は研修後も3月19日（金）まで可能です。

お問合せ　一般社団法人　兵庫県社会福祉士会
078-265-1330
entry@hacsw.or.jp

研修プログラム

オンデマンド講義配信

2026. 12.21 月 ～ 2027. 2.19 金

※講義の視聴は**3月19日（金）**まで可能です。

	内　容	講　師
1	オリエンテーション	
2	【講義１】福祉専門職による災害支援	福島県DWAT協議会会長　島野光正氏
3	【講義２】日本社会福祉士会の災害支援活動と災害対応ガイドライン	日本社会福祉士会副会長　角山信司氏
4	【講義３】大規模災害における福祉支援の変遷	兵庫県立大学大学院教授　阪本真由美氏
5	【講義４】多様な災害支援団体とDWAT	元大阪DWAT隊員　平井亜里砂氏
6	【講義５】被災者支援のための制度と災害ケースマネジメント	弁護士　津久井進氏
7	【講義６】避難行動要支援者支援	兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏

＊講師略歴は兵庫県社会福祉士会ホームページの本研修ページよりダウンロードできます。

オンライン研修

2027. 2.20 土　10:50～16:45

※10：30～受付開始

オンライン研修を受講するためには、
①２月19日（金）までに上記のオンデマンド講義（6科目）を全て修了すること
②２月 ５日（金）までに、事前課題を提出すること　　が必要です。

時間		内容	講師
10：50～		オリエンテーション	
11：00～ 12：30	8	【講義・演習７】避難所の実際 （避難所生活と避難所運営の課題について）	神戸学院大学 伊藤隆博氏
13：20～ 14：50	9	【講義・演習８】福祉専門職による災害支援の実際Ⅰ （災害支援活動における積極的ニーズ把握・アセスメントについて）	元大阪DWAT隊員 澤村さおり氏
15：00～ 16：30	10	【講義・演習９】福祉専門職による災害支援の実際Ⅱ （アセスメントシート・企画シートを使った住民主体のネットワークづくりについて）	元大阪DWAT隊員 澤村さおり氏
16：35～		修了式	

＊講師略歴は兵庫県社会福祉士会ホームページの本研修ページよりダウンロードできます。

修了要件

１）事前・事後課題を提出し、合格すること　※課題の提出先は受講決定通知をご参照ください。
２）事前のオンデマンド講義視聴をオンライン研修前までにすべて視聴し、
　オンライン研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退席は未修了となります）

事前課題

2月5日（金）までに下記の課題を作成し、指定のメールアドレスに提出してください。
「受講者の在住または職場のある市町村の地域防災計画を調べ、避難所や福祉避難所の場所を確認し、避難所の運営方法をまとめる」（800～1,000字）

事後課題

3月19日（金）までに下記の２題を作成し、指定のメールアドレスに提出してください。
１．「災害発生後の被災者ニーズの変化と社会福祉士の発揮すべき専門性について」
２．「災害ソーシャルワークにおけるニーズ把握やアセスメントの実際について」
（各800～1,000字）

講師略歴

オンデマンド講義

【講義１】福祉専門職による災害支援

講師：福島県DWAT協議会会長　島野光正氏
略歴：郡山女子大学家政学部生活科学科　准教授。
元郡山医師会郡山市医療介護病院事務部長（退職時）。元福島県社会福祉士会会長。
元日本社会福祉士会副会長。福島県広域災害福祉支援ネットワーク協議会会長。
日本災害福祉研究会理事。

【講義２】日本社会福祉士会の災害支援活動と災害対応ガイドライン

講師：日本社会福祉士会副会長　角山信司氏
略歴：社会医療法人仁愛会システム統括課課長。
東日本大震災の際は災害医療派遣チーム（沖縄DMAT）のロジスティックとして活動に従事。
沖縄県総合防災訓練、自衛隊との合同訓練や沖縄空港緊急災害訓練等へDMATとして参加。

【講義３】大規模災害における福祉支援の変遷

講師：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授　阪本真由美氏
略歴：専門は、減災コミュニケーション、防災教育、地域防災。
人と防災未来センター主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任准教授を経て現職。
ひょうご震災記念２１世紀研究機構理事。全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）理事・運営委員として官民連携による被災者支援にも取り組んでいる。
中央防災会議委員。

【講義４】多様な災害支援団体とDWAT

講師：元大阪DWAT隊員　平井亜里砂氏
略歴：障がい、児童、高齢、医療分野で社会福祉士として現場経験を積んだのち、厚生労働省DMAT事務局員として災害医療支援、コロナ支援に携わる。
能登半島地震では大阪DWAT隊員として活動。災害福祉研究を継続しつつ、関西学院大学人間福祉学部にて社会福祉士養成に従事後、現在、内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（地域防災力強化担当）付主査。

【講義５】被災者支援のための制度と災害ケースマネジメント

講師：弁護士　津久井進氏
略歴：日弁連災害復興支援委員会元委員長・近畿災害対策まちづくり支援機構事務局次長・兵庫県震災復興研究センター共同代表。
著書：「Q&A　被災者生活再建支援法」商事法務　2011年5月出版
「大災害と法」岩波新書　2012年7月出版
「災害ケースマネジメント　ガイドブック」合同出版　2020年1月出版

【講義６】避難行動要支援者支援

講師：兵庫県社会福祉士会事務局長　西野佳名子氏
略歴：2018年度より兵庫県避難行動要支援者支援研修の企画運営に従事。加古川市防災会議委員。
神戸学院大学総合リハビリテーション学部非常勤講師。
著書：i-BOSAIブックレット№3「誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が取り組むべきこと―物語編―」萌書房2022年発行
i-BOSAIブックレット№４「誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が取り組むべきこと―演習解説編―」萌書房　2022年発行

講師略歴

オンライン研修

【講義・演習７】避難所の実際（避難所生活と避難所運営の課題について）
講師：神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授　伊藤隆博氏
略歴：大学卒業後、MSWとして済生会滋賀県病院、伊勢赤十字病院などに勤務しつつ、災害派遣医療チーム（DMAT）の業務調整員としても活動。岩手県立大学社会福祉学部准教授を経て現職。DWAT養成研修に多数出講。
著書：「事例から学ぶ DWATによる災害福祉支援」みらい　2025年秋発行

【講義・演習８】福祉専門職による災害支援の実際Ⅰ
（災害支援活動における積極的ニーズ把握・アセスメントについて）
【講義・演習９】福祉専門職による災害支援の実際Ⅱ
（アセスメントシート・企画シートを使った住民主体のネットワークづくりについて）

講師：元大阪DWAT隊員　澤村さおり氏
略歴：同志社大学社会福祉学専攻卒業後、池田市社会福祉協議会に入職し、ボランティア・地域包括支援センター等担当。現在、内閣府地域防災力強化担当職員。
東日本大震災では日本社会福祉士会地域ネットワーク再構築事業として、大槌町包括にて仮設住宅での自治組織立ち上げ支援に参加。熊本地震・西日本豪雨・大阪北部地震・能登半島地震にて、社会福祉士会の支援活動に従事。

研修のねらい

本研修はDWAT養成研修ではありません。DWAT隊員の中でも連絡調整のプロである社会福祉士の役割は重要であることから、DWAT養成研修では触れられない内容を重視し、DWAT隊員の方にもこれからDWAT登録をする方にも受講いただけるようプログラムしました。各分野から新しい話題提供をいただき、被災地の実情や災害支援の実際を感じてください。

災害対応の法制度、関係機関の役割、災害発生後からの福祉的ニーズの変遷、生活支援の実際を理解し、ソーシャルワーカーの視点で災害支援ができるようになることが到達点です。

＊オンデマンド講義は2025年度と同じ内容です。

お問合せ

一般社団法人　兵庫県社会福祉士会　078-265-1330　entry@hacsw.or.jp